

令和7年度第1回「ぎょさい・積立ぷらす」北海道推進協議会

令和7年度はぎょさい 1,730 億円、積立ぷらす 174 億円を加入目標に

加入率目標 ギョサイ 91%、積立ぷらす 88%に設定

議事では、令和六年度の推進運動成果等を説明し、漁業収入安定対策事業（ぎょさい掛金追加補助＋積立ぷらす）を活用し加入推進を行った結果、複数の漁協・漁種で新規加入が実現し、令和六年度のマーケットに対する加入率は、ぎょさい（漁獲＋特定養殖）九十一%、積立ぷらす八十八%となり、加入は着実に増加しているものの、加入率の低い漁種がいまだに存在し、定置漁具についても、依然加入率が低い状況であること等、現状の課題等が報告されました。

「ぎょさいと積立ぷらす」の普遍的な加入実現のため、道庁及び在札系統団体の漁連・信漁連・基金協会道支所・共水連道事務所・共済組合で構成する「ぎょさい・積立ぷらす」北海道推進協議会の第一回会議が九月五日、札幌市第二水産ビル五階の共水連会議室で開催されました。会議では、令和六年度の運動結果を報告、地区別漁種別の「マーケットとぎょさい・積立ぷらすの加入率」と、過去の運動結果を踏まえ、令和七年度は補償額でぎょさい（漁獲＋特定養殖）一千七百三十億円、積立ぷらす百七十四億円、ぎょさい（定置漁具）八十五億円を目標に推進活動を実施する方針を確認しました。

水産基本計画において重要な施策の一つとして位置づけられている「漁業収入安定対策事業」を引続き活用すると共に、三年目を迎える『ぎょさい普及推進全国運動』に連動した推進活動を展開し、未加入となっている漁業等の水揚状況や実態把握に努め、「ぎょさい・積立ぷらす」北海道推進協議会と連携を図りながら、主要漁業・養殖業の推進活動を展開することで、漁業経営を守る役割を充分発揮出来るよう、「ぎょさい・積立ぷらす」の普遍的な加入

令和七年度の推進方策



▲座長の住岡水産経営課長

と定着を目指すこととしました。尚、系統団体の役員改選に伴い、左記名簿の委員構成となっております。

「ぎょさい・積立ぷらす」北海道推進協議会 委員名簿（令和7年8月～）

所 属	役 職 名	氏 名
北海道水産林務部	水産経営課長	住 岡 理
北海道漁業協同組合連合会	代表理事専務	瀧 波 憲 二
北海道信用漁業協同組合連合会	代表理事常務	小 林 洋
基金協会北海道支所	運営副委員長	河内山 勉
共水連北海道事務所	所長代理	畠 山 尚 貴
北海道漁業共済組合	専務理事	小 林 重 雄

推進協議会 委員の皆様

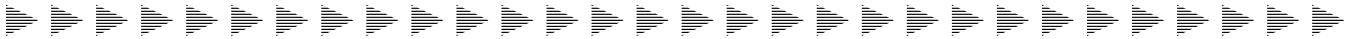


▲共水連北海道事務所
吉田副所長（代理出席）

▲基金協会道支所
河内山 運営副委員長

▲信漁連
小林常務

▲漁連
瀧波専務



令和7年度 9月末 主な漁業の実績状況（速報）

1. さんま棒受網漁業 ぎょさい・積立ぶらす 加入実績（単位：百万円）

地 区	令和7年度		令和6年度		増減（R7-R6）	
	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額
室 蘭	214	4	214	3	0	1
日 高	311	7	312	4	△1	3
釧 路	1,128	24	1,072	15	56	9
根 室	2,763	60	2,507	37	256	23
合 計	4,416	95	4,105	59	311	36

2. 秋さけ定置漁業 ぎょさい・積立ぶらす 加入実績（単位：百万円）

地 区	令和7年度		令和6年度		増減（R7-R6）	
	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額
小 樽	1,631	131	1,558	126	73	5
桧 山	250	24	265	21	△15	3
函 館	425	150	534	146	△109	4
室 蘭	978	267	1,136	282	△158	△15
日 高	1,870	565	2,206	589	△336	△24
釧 路	1,772	467	1,861	532	△89	△65
根 室	5,438	1,323	5,468	1,533	△30	△210
北 見	13,829	1,783	12,979	1,984	850	△201
稚 内	3,827	350	3,842	361	△15	△11
留 萌	438	70	432	63	6	7
合 計	30,458	5,130	30,281	5,637	177	△507

本年度は依然として続く国際情勢の悪化とインフレ・円安による燃油・資材価格の高騰、中国の禁輸措置、記録的な猛暑や豪雨などの異常気象等、極めて厳しい漁業環境下での推進となりましたが、上半期の大宗漁業である「さんま棒受網漁業」「秋さけ定置漁業」、噴火湾地域等の「ほたて貝等養殖業」のぎょさい・積立ぶらす並びに「漁業施設（秋さけ定置漁具）」のぎょさい加入実績がまとまりました。

【さんま棒受網漁業】
前年度の漁獲数量・金額増加等による補償水準（共済限度額）の上昇に加え、大型船の復活による増加により、全道合計ではぎょさい（共済金額・以下同じ）で前年度より三億一千二百万円増の四十四億一千六百万円、積立ぶらす（漁業者積立金額・以下同じ）で三千六百万円増の九千五百万円の実績となりました。

【秋さけ定置漁業】
近年の来遊不振の影響による補償水準の低下や休漁等による減少があったものの、一部の地区で契約割合の引上げや補償水準の上昇もあり、全道合計ではぎょさいで前年度より一億七千七百万円増加し、三百四億五千八百万円の実績となりました。また、積立ぶらすはクロマグロ強度資源管理による下止めの段階的引下げ等により五億七百万円減少し、五十一億三千万円となりました。

令和七年度上半期、大宗漁業・養殖業の加入（速報値）がまとまる
「ほたて貝等養殖業」で加入実績大幅増加



3. ほたて貝等養殖業 ギョサイ・積立ぶらす 加入実績 (単位: 百万円)

地 区	令和7年度		令和6年度		増減 (R7-R6)	
	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額
小 樽	205	28	190	9	15	19
函 館	12,986	492	8,401	371	4,585	121
室 蘭	945	83	781	65	164	18
北 見	717	27	680	26	37	1
合 計	14,853	630	10,052	471	4,801	159

4. 漁業施設（秋さけ定置漁具）ギョサイ加入実績 (単位: 百万円)

地 区	令和7年度		令和6年度		増減 (R7-R6)	
	件数	共済金額	件数	共済金額	件数	共済金額
小 樽	39	296	38	285	1	11
桧 山	2	18	2	18	0	0
函 館	0	0	0	0	0	0
室 蘭	9	104	11	130	△2	△26
日 高	20	318	20	322	0	△4
釧 路	52	862	54	880	△2	△18
根 室	40	502	40	504	0	△2
北 見	133	2,387	133	2,397	0	△10
稚 内	2	13	2	13	0	0
留 萌	4	33	4	34	0	△1
合 計	301	4,533	304	4,583	△3	△50

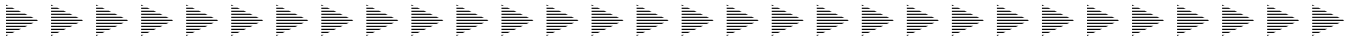
【ほたて貝等養殖業】

近年の価格高の影響等による補償水準（共済限度額）の上昇に加え、函館地区を中心に各地区で契約割合の引上げが大きく図られたことにより、全道合計ではギョサイで前年度より四十八億二百万円増加し、百四十八億五千三百万円、積立ぶらすは一億五千九百万円増の六億三千万円の実績となりました。

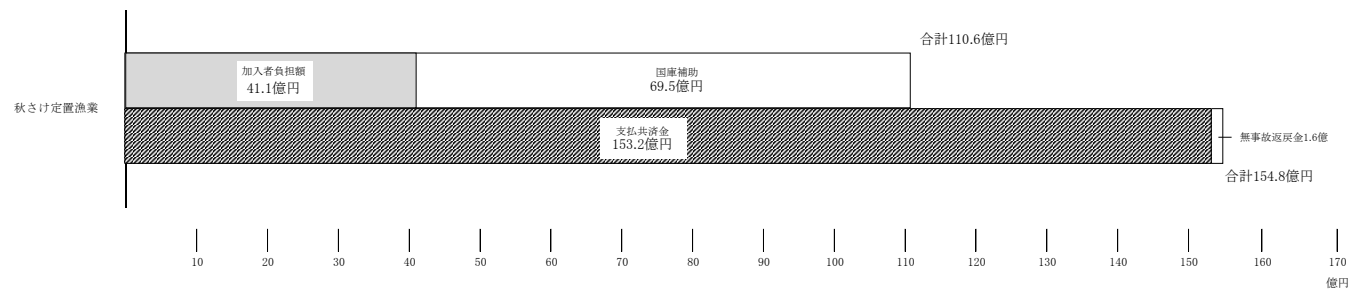
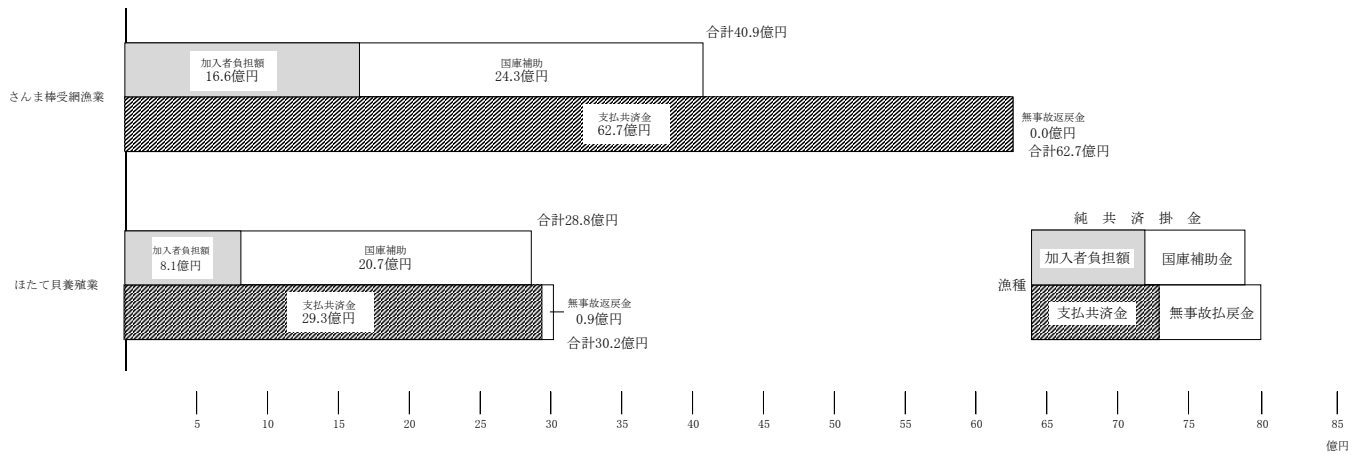
【漁業施設（秋さけ定置漁具）】

小樽地区の岩内郡漁協で新規加入がありました。各地区での引受現行率の低下による共済価額の減少等があったことにより、全道合計では前年度より件数で三件、共済金額で五千万円減少し、三百一件、四十五億三千三百万円の実績となりました。





5. 上半期引受 太宗漁業・養殖業の共済収支(令和2年度から令和6年度までの直近5か年累計)



ぎょさい

積立ぶらす

安心

経営



漁業共済組合・連合会



下半期には、すけとうだら刺し網漁業、こんぶ養殖業、ほたて貝桁網漁業、こんぶをとる漁業、各種漁船漁業が加入時期を迎えますが、漁業経営の後ろ盾として、**ぎょさいと積立ぶらすとのセット加入**を引き続き推進して参りますので、宜しくお願い申し上げます。